

2020年

春

どうそ 満

議員活動報告



発行責任者 道祖 満
飯塚市鯉田2525-44
TEL 25-3280

つくります!
newしいづがライフ

飯塚市議会議員 どうそ 道祖 満

春霞たなびく山の桜花

うつろはむとや色かはりゆく

(よみ人知らず)

皆様お元気ですか。

今年も自宅前の公園にある桜の花が咲き始めました。

桜の花のあるうちに、この議員活動報告を皆様の手に届けることができるように、机に向かって原稿を作成しています。

年が明けての新型コロナウイルス感染症による肺炎で死に至る病気については驚きました。

飯塚市議会では、2月25日から3月19日までの間、3月定例会市議会が開催される予定でしたが、新型コロナウイルス感染症対策のため、会期日数を2日間短縮して3月17日まで開催されました。(本会議、各委員会では、議員も市職員もマスク着用で会議が行われました。)

わたしも外出する際にはマスク着用を心がけています。

東京オリンピック・パラリンピックの延期が決まりました。

飯塚国際車いすテニス大会も中止になりました。

海外でも外出制限が行われていますが、飯塚市内での経済活動の停滞が心配です。

桜の花が散る頃には、新型コロナウイルス感染症騒ぎが終焉していることを望みますが、中々終息には至らない様子です。

皆様におきましては対応にご注意ください。

3月定例会市議会では、「産業用太陽光発電の稼働状況について」「ふくおか県央環境広域施設組合に関連して」の2点について一般質問を行いました。

令和 2 年 3 月定例市議会が開催されました。

今回の定例市議会では、令和 2 年度の飯塚市の一般会計予算、各特別会計予算についての審議が行われました。

令和 2 年度の一般会計予算総額は、689 億 9600 万円で昨年に比べ 40 億 5600 万円増加しています。

国民健康保険・介護保険・学校給食事業等の 11 の特別会計総額は、527 億 2634 万 5 千円で昨年度より 36 億 9183 万 8 千円増加しています

水道事業・下水道事業・市立病院事業・工業用水道事業の企業会計総額は、88 億 694 万 2 千円で昨年度に比べ 4 億 3.354 万 4 千円増加しています。

飯塚市の令和 2 年度は、総額 1305 億 2928 万 7 千円の予算で運営されます。

一般会計予算の歳出には、企業誘致用適地調査事業各所測量委託料 1150 万円・目尾地域振興基本計画事業旧目尾小学校跡地整備工事等 6540 万円・住宅取得移住奨励事業費 4505 万円・相田公園整備事業費 5983 万 6 千円・川津排水ポンプ新設事業費 1 億 3.120 万円・小中学校間ネットワーク再構築事業費小学校分 1 億 6875 万 9 千円、中学校分 8882 万 1 千円・古代山城サミット開催事業費 266 万 5 千円・市民運動公園テニスコート施設整備費 1008 万 5 千円等の今年度の新規事業費が計上されています。

条例等の議案の主なものは、次の通りです。

- ◎「飯塚市子育て支援センター条例の一部を改正する条例」(子育て支援センターの管理運営を指定管理者に行わせることを可能とするため関係規定を整備するもの。)
- ◎「飯塚市子ども医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例」(外来診療に係る子ども医療費の支給対象者を、令和 2 年 10 月 1 日より、小学校 6 年生修了前から中学校 3 年生修了前までに拡大するもの。)
- ◎「飯塚市協働のまちづくり推進条例」(協働のまちづくりを推進するため、その基本理念を定め、市民等、地域活動団体、市民活動団体、市の役割を明らかにし、市の支援等に関して必要な事項を定めるもの。令和 2 年 4 月 1 日から施行。)
- ◎「飯塚市営駐車場条例の一部を改正する条例」(本町・東町駐車場の廃止、飯塚立体駐車場の供用時間を 0 時から 24 時までに変更、飯塚立体駐車場・飯塚文化会館駐車場の駐車料金の上限額を 1200 円以内と定めるもの。令和 3 年 4 月 1 日から施行。)
- ◎「契約の締結・鯉田交流センター建設工事」(総合評価方式による入札 2 億 7526 万 2,900 円で友信建設株式会社と工事契約するもの。)
- ◎「土地の処分・パークタウン潤野」(潤野字大牟田 904 番 87 外 10 筆処分面積 18,841.71 m²を 1 億 3800 万円で弁分 127 番地 7 の未来エステート株式会社へ売却するもの。)
- ◎「権利の放棄・山倉外」(飯塚市山倉、綱分、田川市大字弓削田地内の面積 109,400 m²の石灰石の鉱業権の放棄と、飯塚市山倉地内の面積 37,300 m²の石灰石の鉱業権を放棄す

るもの。)

◎「教育委員会委員の任命につき議会の同意を求めること」(令和2年5月16日任期満了に伴い、引き続き上田敬子さんを教育委員会委員に任命する事について議会の同意を求めるもの。)

◎「教育委員会教育長の任命につき議会の同意を求めること」(教育委員会教育長の任期満了に伴い、新たに武井政一さんを教育委員会教育長に任命することについて議会の同意を求めるもの。)

「産業用太陽光発電の稼働状況」

について一般質問を行いました。

全国的に自然エネルギーの活用として太陽光発電のメガソーラー発電所設置が近年進んでいますが、飯塚市内の産業用太陽光発電メガソーラー発電所の稼働状況はどうなっているのか。また、設置稼働することによって、市に対する税収状況がどうなっているのか質しました。

質問 飯塚市における産業用太陽光発電の稼働状況は、設置場所・面積・発電量等はどうなっていますか。

答弁 固定資産税を課税している償却資産の内、認定発電量が千キロワットを超えるものは市内に41か所あり、認定発電量は7万9千キロワットで、飯塚地区15か所・穂波地区4か所・筑穂地区7か所・庄内地区9か所・穎田地区6か所となっている。設置面積については1キロワット当たり15㎡必要とされているので全体で79万㎡となる。

質問 産業用太陽光発電による市の税収状況はどうなっていますか。

答弁 令和2年1月末現在の課税している償却資産の固定資産税は、発電量千キロワット未満の設備を含めた税額は、約1億7,800万円となっている。

質問 この1億7,800万円は、市の固定資産税総額、償却資産合計額に占める割合はどうなっていますか。

答弁 令和2年1月末現在の固定資産税調定額は約63億1,200万円であり、その内、償却資産に係る税額は約14億1,500万円である。太陽光発電設備に対する税額の割合は、固定資産税総額の2.8%、償却資産合計額の12.6%となっている。

質問 5年後の償却資産の固定資産税の税額はどうなりますか。

答弁 新規課税や価格修正なしと仮定して算出すると、5年後の税額は約9,700万円となる。

太陽光発電設備の設置場所は、交通手段が限られている地域と重なる場所が多く見られます。

この太陽光発電設備による市の税収は今後5年間毎年約1億円以上あることが予想さ

れています。

この税収を、例えば地域の公共交通の代替策の補助金等に使えないか検討することを要望して質問を終わりました。

「ふくおか県央環境広域施設組合」 に関連して一般質問を行いました。

現在 2 市 2 町で「ふくおか県央環境広域施設組合」が設置されていますが、この設置目的と設置に至る経過について、また、今後の対応について一般質問で市の考えを質しました。

質問 「ふくおか県央環境広域施設組合」の設置目的と経過についてお尋ねいたします。

答弁 平成 29 年 4 月 1 日に、財政負担の軽減、環境負荷の低減を図るため、飯塚市、嘉麻市、桂川町、小竹町の「ごみ処理施設・し尿処理施設・火葬場」の広域化の協議をおこなって、住民福祉の向上を目的として「環境施設等広域化に関する任意協議会」が設置され、協議を重ね、昨年 4 月 1 日に新しく「ふくおか県央環境広域施設組合」が設置された。

質問 今後の取り組みについてお尋ねいたしますが、具体的にごみの処理については、現在、飯塚市吉北の飯塚市クリーンセンター（処理区域は旧飯塚市）・桂川町九郎丸の桂苑（処理区域旧穂波、旧筑穂、桂川町）・嘉麻市岩崎のごみ燃料化センター（処理区域は旧庄内、旧穎田、旧稲築）・嘉麻市上の嘉麻クリーンセンター（処理区域は旧山田、旧嘉穂、旧碓井）の 4 施設で行われていますが、2 市 2 町の可燃ごみのごみ袋の大きさ・価格が異なっていますが、どのようになっていますか。また、今後広域運営を行っていく訳ですが、ごみ袋の大きさ、価格の見直しを行う考えがあるのでしょうか。

答弁 ごみ袋の大きさと、税込み価格は次の表のようになっています。

現在、飯塚市では、収集・処理経費の約 3 分の 1 をごみ袋代金に設定して市民の皆さんに負担してもらっている。今後、施設の再編により、収集・処理経費が大幅に変われば見直しが必要になると考える。

(各自治体のごみ袋の、容量と価格の比較)

自治体名	可燃大		可燃中		可燃小	
	容量	単価(税込)	容量	単価(税込)	容量	単価(税込)
飯塚市	45	770	30	440	15	220
嘉麻市	50	550	30	330	15	165
桂川町						
小竹町	45	740	25	582		

質問 斎場については、3か所ありますが、火葬の際の料金が異なっています。筑穂園の料金については、1市4町の合併の際、施設が古いこともあって1万円、飯塚市斎場は合併以前の料金の2万1千円となったと記憶していますが、平成29年1月より運営されています嘉麻斎場は1万円となっています。今後、広域運営を行っていく際に対応区域の変更、料金の見直しを行う考えがあるのでしょうか。

答弁 質問議員の言われる内容の利用料金となっているが、各斎場は組合発足に伴い、「ふくおか県央環境広域施設組合斎場の設置及び管理に関する条例」で、対応区域、利用料金、指定管理者を飯塚市、嘉麻市から継承している。将来、料金変更が検討される場合は本市の考えを求めていく考えである。

質問 現在、「ふくおか県央環境広域施設組合」の管理・運営施設は14施設ありますが、各施設の維持管理・運営費はどのようになっていますか。

答弁 各施設の令和元年度予算では、総額28億5,567万円となっている。

質問 今後の広域運営の際にこの各施設の維持管理・運営費についてはどうあるべきだと考えているのですか。

答弁 施設組合が設立されたので、各施設の維持管理についても効率化の検討は必要と考えるが、当分の間は維持管理方法を見直すことは難しいが、今後の施設の統廃合の際に検討できればと考えている。

質問 今後は整備計画を策定するとのことでありますが、策定には「有識者等の外部委員検討会議」を設けるとしています。これには市の総合計画の担当責任者・財政担当責任者・所管の担当責任者は委員として参加させるべきだと考えますが、市の考えを示して頂きたい。

答弁 令和2年度から整備計画策定に取り組むことを承知している。整備計画の内容は、市の財政負担にも大きく影響するものであり、計画の策定段階から積極的にかかわっていく必要がある。飯塚市の意見等が十分に反映される委員構成を求めていく。

* 1市4町が合併し、合併以前の自治体が一部事務組合で一般廃棄物の処理を行ってきましたが、飯塚市（旧穂波、旧筑穂）、桂川町のごみを処理しています「桂苑」については施設建設から26年が経過して耐用年数から考えて令和2年度内に今後の在り方について方向を定める必要性が生じています。

* 飯塚市（旧庄内、旧穎田）、嘉麻市（旧稲築）のごみを処理しています「ごみ燃料化センター」については、ごみが固形燃料化されたRDFの受け入れ先の「大牟田リサイクル発電株式会社」が、令和4年度で事業を停止するため、次の受け入れ先を探す必要性が生じています。受け入れ先が無くなれば、ごみ処理施設の稼働停止が考えられます。

施設の老朽化に伴う大規模改修、施設の更新については、市の財政に大きな負担が生じないように取り組むことを要望して質問を終わりました。

経済建設委員会報告

令和 2 年 3 月 6 日に開催された経済建設委員会では、議案提出された「飯塚市営駐車場条例の一部を改正する条例」の審議が行われました。

この条例では、東町駐車場の廃止と本町駐車場の廃止が提案されました。

この 2 つの駐車場については、近隣に民間駐車場が整備されたため、利用者の減少による使用料金の減収について昨年 12 月 16 日開催の経済建設委員会で報告がありましたが、公設の駐車場の必要性が少ないのであれば、これを廃止し中心市街地の活性化に利用することを提案していました。(今回、廃止の議案が提出されました。)

跡地については、東町駐車場は、美幸町再開発の際の代替え地として利用する。本町駐車場は、本町にある飯塚市健幸プラザ利用者の駐車場として考えているとのことでありました。今回の議案提案に対しては賛成するが、この本町駐車場は、バスセンターから約 300m の場所にあり、市は立地適正化計画も作成して中心市街地の活性化を考えているが、定住人口を増やすために活用することを提言致しました。(議案の賛否は、委員会・本会議とも議員全員の賛成で可決されました。)

また、議案提出された「権利の放棄」は、旧庄内町が、開発目的で関の山に石灰石採掘の鉱業権を確保していましたが、合併後、飯塚市は独自の開発はできないとして、この鉱業権の売却議案を昨年議会に議案として提案していました。結果として、地元より「鉱業権及び土地の譲渡に反対する」請願が出され、昨年 12 月定例市議会で、この請願が採択されたため鉱業権の売却議案は否決されました。

この鉱業権は開発の意思が無くなれば、鉱業法では鉱業権を国に返還することが定められていますので、「権利の放棄」として議案が提出されたものです。(議案の賛否は、委員会では反対はありませんでしたが、本会議では、議長と欠席議員を除く 25 名中、賛成 17 名、反対 8 名で可決されました。)

市議会議員の報酬について考える。

65 歳以上 46 万円を 40 万円に改定へ

65 歳未満 46 万円を 48.5 万円に改定へ

昨年 6 月定例市議会で、飯塚市の財政改革を議会から取り組むことを目的として、次回の市議会議員選挙の議員定数を現行の 28 名から 4 名削減し 24 名とする議案を提出致しました。(この議員定数削減の議案は、採決の結果、議長を除く 27 名中賛成 21 名反対 6 名で可決されました。)

この議案の質疑の際、次回の市議会議員選挙後からの市の財政改革について議会から

取り組むことは理解するが、今任期中の議会の財政改革については考えているのか、との指摘がありました。

この質問に対して、議員定数の削減を考えると同時に、議員報酬の在り方についても考えていましたので、当然検討はしているが、今回は次回改選後の市の財政改革を目的にしていると答弁を致しました。

わたしは今年の7月に65歳になり、年金給付を受ける年齢になった訳ですが、現行の年金給付制度を見ていますと、市議会議員にも65歳以上には、老齢厚生年金部分に「在職老齢年金の支給停止調整制度」が適用されます。

65歳から支給される老齢基礎年金月約6万5千円(40年加入)については支給停止にはなりません。

この在職老齢年金の支給停止調整額は、47万円となっています。

飯塚市議会の議員の年間の報酬は約722万2千円ですが、これを12か月で割り、1か月当たりの額に直すと約60.2万円となります。

仮に老齢厚生年金が月10万円、年間に120万円とした場合の老齢厚生年金の支給停止額は次のようになります。

$$120 \text{ 万円} - (10 \text{ 万円} + 60.2 \text{ 万円} - 47 \text{ 万円}) \times 1/2 \times 12 \text{ か月} = -19.2 \text{ 万円}$$

(支給停止額が139.2万円となり、年金支給額の120万円を超えるため老齢厚生年金は支給されません。)

65歳以上の議員の報酬を月40万円に改定すると、年間の報酬総額が約628万円になりこれを12か月で割り、1か月当たりの額に直すと約52.4万円

$$120 \text{ 万円} - (10 \text{ 万円} + 52.4 \text{ 万円} - 47 \text{ 万円}) \times 1/2 \times 12 \text{ か月} = 27.6 \text{ 万円}$$

(支給停止額が92.4万円となり、年間支給額の120万円を超えないため年間27.6万円の老齢厚生年金が支給されることとなります。)

この様な国の年金制度と組み合わせて、議員の報酬の在り方を考えて今任期中の財政効果に取り組むことを数名の議員と協議を重ねてきました。

昨年4月に行われました飯塚市議会議員選挙に立候補した36名の年齢別構成は、30代2名・40代1名・50代11名・60代17名・70代5名となっています。(36名の中で60歳以上22名、60歳未満は14名となっています。)

当選者28名の年齢別構成は、30代2名・40代1名・50代10名・60代14名・70代1名となっています。(28名の中で60歳以上が15名、60歳未満が13名となっています。)

この年齢別構成から考えると、60歳未満の人たちが立候補し難い状況にあるのではないかと思います。

例えば、市議会議員年金は廃止されていますので、市議会議員と別に勤め先がある方は勤務先の厚生年金・社会保険に加入されますが、市議会議員以外の職の無い方は独自で国

民年金・国民健康保険に加入することになります。(私自身も 58 歳で勤め先を早期退職後は、国民年金を年間約 20 万円・国民健康保険税年間約 85 万円納付していました。)

飯塚市議会議員の任期は 4 年間です。従って、期間限定の勤めとなり長期間の勤めの保証はありません。

この様な背景からも、今後の飯塚市議会議員の報酬の在り方について考えてみました。

現在の飯塚市は、平成 18 年(2006 年)3 月に 1 市 4 町が合併し誕生いたしました。その際、市議会議員の報酬は旧飯塚市の報酬額の月 46 万円を支給するとして、今日に至っています。

従いまして、現在の飯塚市議会議員の報酬は各議員一律月額 46 万円です。

この報酬を、65 歳の年齢で分けて支給することを考えています。

「65 歳以上の議員の報酬を、現行の 46 万円から 6 万円減額して 40 万円に改定。」

「65 歳未満の議員の報酬を、現行の 46 万円から 2.5 万円増額して 48.5 万円に改定。」

改定することができれば、施行は令和 3 年(2021 年)1 月 1 日からを考えています。

現在の飯塚市の 28 名の議員の年齢構成を見ていますと、令和 3 年 1 月 1 日時点の 65 歳以上の議員は 9 名、65 歳未満の議員は 19 名となります。

65 歳以上 9 名×減額する 6 万円=54 万円

65 歳未満 19 名×増額する 2.5 万円=47.5 万円 減額総額 54 万円から増額総額 47.5 万円を差し引くと、月に 6.5 万円が財政効果額となります。

令和 3 年 1 月 1 日を施行日としますと、今任期の残りは 2 年と 4 月間ありますので、月数に直しますと 28 か月となります。

議員に対する期末手当(ボーナス)は、年間約 3.7 か月分で、2 年間で約 7.4 か月

28 か月と約 7.4 か月を合わせますと約 35.4 か月となりますので、今任期中には、約 35.4 か月×月 6.5 万円=約 230.1 万円の財政効果額が見込めます。

「いづかスポーツ・リゾート」オープン

老朽化に伴い庄内温泉 筑豊ハイツの再整備事業を、飯塚市では進めてきましたが、令和 2 年 4 月 13 日(月)に「いづかスポーツ・リゾート」としてオープン致します。

